



新型コロナウイルス感染拡大防止の為、様々な活動に制限が出ています。これにより、現場は不安や悩みを抱えますが、同時に新たな創意工夫が生まれています。「つながる通信」では、そうしたコロナに負けない地域の繋がりやパワーを発信し、各地でお役立ていただく一助となれればと願っております。

取材先

九合地区 飯塚町&龍舞町「菜友会」
～ぼかし作り～

花壇の清掃、花植えが終わると、全員で「ぼかし作り」を行います。EM菌、米ぬか、もみ殻などを混ぜ合わせ、容器に詰めていき、しばらく寝かせて発酵させていくそうです。いい香りがしてきたら出来上がり！出来上がった「ぼかし」は肥料として畑に撒きます。

特に誰かが指示を出すわけでもなく、長年の経験から菜友会のみなさんは手慣れた様子でテキパキと作業をこなしていきます。4～5名でグループになり、良い「ぼかし」になるように満遍なく混ぜ合わせていきます。手を動かしながらも野菜の話や昔話しに花を咲かせていました。



作業終了後、輪になり次回の日程確認と意見交換を行います。

チェック
ポイント

菜友会は非農家の方が多くいらっしゃいます。この場合は野菜の生育に関する質問や相談ごとなどの**情報交換の場所**でもあり、笑顔の絶えないみなさんの**居場所**にもなっています。歳を重ねても「学ぶ」姿勢を忘れずにいる。そういった気持ちがいつまでも若々しく、元気でいられる秘訣だと思います。菜園は「きょうよう（今日用がある）」と「きょういく（今日行くところが**ある**）」に最適な環境だと感じました。

裏面へ続きます→

地域のお宝発見 ～太田市生活支援体制整備事業～

菜友会のみなさんにお話しをお聞きしました！



おかだ たかお
岡田 貴男さん（70歳）

同級生からも「岡田さんほど元気な人はいないよ！」と言われるほど元気です。朝は4時に起き、精米機の掃除ついでに大泉町にあるカインズホームまで1万歩あるきます。雨の日も風の日も継続中！今のところ休むことなく600日歩いています。「自分は回遊魚と一緒に。止まると死んじゃうよ。」と冗談交じりに元気の秘訣を教えてくださいました。



なかにわ りょういち
中庭 亮一さん
（70歳）



よしだ のりこ
吉田 典子さん

コロナ禍で時間にゆとりができました。空いた時間に畑と向き合うことができ、充実した日々を送っています。コロナ禍でもストレスを感じませんでした。

「コロナ禍でも集う場所があるのはとても良いこと！交流しづらい世の中だからこそここがあって本当に良かった。」「農家の人たちは、先のことをずっと考えて頭を使っているから、元気な人たちばかり。」地域で呼びかけて集まるのは難しいときだからこそ、菜友会のような集まる場所は大切だと話してくれました。



おおつか かつみ
大塚 勝美さん
（77歳）



以前から家庭菜園を趣味とされていました。退職を機に友人に誘われて菜友会に入会。「健康の秘訣は趣味があること！」「畑とそば打ちがなかったら何もすることがなくなっちゃう」



かじわら きょうどう
梶原 恭三さん
（80歳）



退職後、畑を始めました。「コロナ禍でも畑があって良かった。畑があったことで健康でいることができた。畑がモチベーションになり、おすそ分けをすると美味しいと褒めてくれるのでやる気につながっている」



かねた すすむ
兼田 進さん（72歳）

旭小学校の支援隊メンバー

自分の畑より、学校の農園が気になります。「しっかり作らないと収穫時、子供たちががっかりしてしまう。喜ぶ顔がみたいから頑張っている」誰かのためなら頑張る力が湧いてくる。



お宝情報を募集中！「私の近所でこんな取り組みをしている」「こんな工夫をして気にかけている」など、あなたの地域のつながりを教えてください。情報をお持ちの方は下記お問合せまで！



詳しくはこちら

お問い合わせ

太田市社会福祉協議会 地域福祉係
〒373-0817 群馬県太田市飯塚町1549
TEL 0276-30-0033 FAX 0276-30-0032